

単元に係る児童の実態

本学級の児童は、学習に対して意欲的で、自分の考えや思ったことを進んで発表することができる。しかし、社会科に関するアンケートをしたところ次のような結果となった。

	当てはまる	どちらかという 当てはまる	どちらかという 当てはまらない	当てはまらない
社会は好きですか。	12.5%	62.5%	25%	0%
社会で進んで発表できますか。	12.5%	56%	34%	3%

社会科においては、全体として苦手とする児童が多く、発表に関しても積極的ではない。これは、3年生になり、社会科という教科に慣れていないことが1つの原因であると考えられる。

また、深谷市のことにアンケートをしたところ、本学級の児童は、自分の住んでいるところと深谷市どちらも「好き」と答えた児童が100%だった。さらに深谷市で行ったことがあるところのアンケートでは次のような結果になった。

	アリオ	花園インター チェンジ	道の駅	渋沢栄一記念館	ビッグタートル	わんぱくランド	パティオ
行ったことがある	100%	40%	72%	34%	56%	81%	84%

このアンケートから、深谷市の場所で認知が高いところと低いところに差があることがわかった。以上より、本学級の児童は、深谷市のことは好きであるが、知らないこともあるということがわかる。本単元では、写真や地図、インターネットを多様に活用して、児童が学習に意欲的に取り組み、深谷市に対する愛情を育てられるように指導をしていく。

単元のゴール

【知識・技能】市の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設の場所と働き、交通の様子など、地域の様子は場所によって違いがあることを理解することができる。

【思考力・判断力・表現力】社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて自分の考えを表現することができる。

【学びに向かう力・人間性】自分たちの住む深谷市について、主体的に学習し、地域社会に対する愛情の自覚を養うことができる。

社会的事象の見方・考え方

【位置や空間的な広がり】市の身近ではない場所を調べ、場所によって違いがあることを理解する。

【相互関係】場所による違いは、土地柄が大きく関わっていることを理解する。

課題を追求したり解決したりする活動

○小単元「市のようす」における学習問題を設定し、その問題の解決に向けて、次の活動を指導する。

- ・市のそれぞれの場所の写真等を見て、気づいたことを整理する。
- ・それぞれの場所の地図を比較して、その場所の特徴に気づく。

主体的・対話的な学びに向けて

・主体的な学びに向け、児童の身近な場所を学習課題として取り上げる。・対話的な学習に向け、児童同士で気づいたことを発表する場を設ける。

深い学びに向けて

・深谷市のそれぞれの場所との比較をさせ、よりその地域や場所の特色に気づけるようにする。

単元計画

◎学習問題 ○学習課題

1時間目 ○空から市の様子を撮った写真を見て、気づいたことを話し合おう。 ◎深谷市にはどのような場所があり、それぞれどのような様子なのでしょう。	◆各時間終了後の児童の姿 ◆深谷市には、さまざまな土地の様子やいろいろな建物があることに関心をもつ。
2時間目 ○学習の進め方を確認しよう。	◆単元の見通しをもつ。
3時間目 ○深谷駅のまわりは、どのような様子なのでしょう。	◆深谷駅のまわりの様子や特徴を理解している。
4時間目 ○利根川にそった場所は、どのような様子なのでしょう。	◆利根川にそった場所の様子や特徴を理解している。
5時間目 ○花園インターチェンジのまわりは、どのような様子なのでしょう。	◆花園インターチェンジのまわりの様子や特徴を理解している。
6時間目 ○国道17号のまわりは、どのような様子なのでしょう。	◆国道17号のまわりの様子や特徴を理解している。
7時間目 本時 ○大型ショッピングセンターのまわりは、どのような様子なのでしょう。	◆大型ショッピングセンターのまわりの様子や特徴を理解している。
8時間目 ○土地が整っている場所は、どのような様子なのでしょう。	◆土地が整っている場所の様子や特徴を理解している。
9・10時間目 ○調べたことをもとに、深谷市の様子をまとめよう。	◆学習問題の答えを自分の言葉でまとめている。
深谷市には、さまざまな場所があり、それぞれ地形や土地利用、交通や人の様子などが違って、市内の様子は場所によって違いがある。	
11時間目 ○深谷市には、どのような公共施設があるのだろうか。	◆身近な地域の様子、特色やよさを考えようとしている。

授業デザイン (7 / 11)

前時の概要

前時まで、深谷市の駅のまわり、利根川にそった場所、花園インターチェンジなどの場所の様子や特徴を調べてきた。それぞれの場所の様子を写真やインターネットを活用して、場所と土地の特色を結びつけて考えてきた。

【社会的事象の見方・考え方】

【位置や空間的な広がり】

【相互関係】

一人一人を伸ばす 上位層下位層に向けて

上位層 資料で調べる時、大型ショッピングモールの意義を考えさせながら行わせる。
下位層 資料で調べる時、着目すべき点に気づかせるような助言をして行わせる。

主体的・対話的で深い学びに向けて

【主体的な学び】の実現に向けて

- 学習課題を設定し、問題解決型学習を取り入れる。
- 児童の興味のある市の場所を取り上げて、学習を進める。
- ICT 機器を取り入れた授業展開をする。

【対話的な学び】の実現に向けて

- グループでの話し合い活動を取り入れる。

【深い学び】の実現に向けて

- 学習課題が本時で独立しないように、深谷市のそれぞれの場所を比較して、その場所の特色に気づけるようにする。

本時の目標

大型ショッピングセンターのまわりの様子や特徴を理解している。

板書計画

課題

大型ショッピングセンターのまわりは、どのような様子なのでしょうか。

【気づいたこと】

- 家が多い
- 畑や田んぼが少ない
- 店が多い

まとめ

大型ショッピングモールのまわりは、人がたくさん来るように家やお店などがたくさん集まっている。

PC	PC	PC	PC	PC	PC	PC	PC
----	----	----	----	----	----	----	----

今後の展開

〈期待する児童の姿〉

- 資料から課題の解決となる情報を読み取ることができる。
- 学習を通して、地域社会に対する愛情の自覚を養う。

〈次時の学習課題〉

- 土地が整っている場所は、どのような様子なのか、資料を活用して読み取る。

本時の流れ (授業スタンダード) 学習活動 ・指導上の留意点 □評価

<p>問題発見</p> <p>本単元の1時間目で深谷市の中でまわりの様子を調べたいところを児童にいくつか挙げさせた。児童から挙げた中から抜粋して選び、前時までの学習で、深谷駅のまわりや国道17号のまわり、花園インターチェンジのまわりなどの様子を学習してきた。本時でも、児童から挙げた場所を調べる対象として学習を進め、児童の意欲を高めていく。</p> <p>本時の学習課題</p> <p>大型ショッピングセンターのまわりは、どのような様子なのでしょうか。</p>	<p>問題解決□</p> <p>学習課題に対して、個人で予想をさせる。予想をさせる際は、実際に行ったときのことを想起させたり、大型ショッピングモールの意義を考えさせたりして理由まで考えられるようにする。</p> <p>C: たくさんの人が行くから、家が多いと思う。</p> <p>C: 人が集まる場所だから、まわりには、たくさんのお店があると思う。</p> <p>C: 人がよく来る場所だから、まわりには大きな建物があると思う。</p> <p>・児童の興味・関心を高めるために実際の写真を提示する。</p>	<p>問題解決□個人⇒グループ</p> <p>教師が用意した資料を用いて、まわりの様子を個人で調べる。その後、ICT機器を活用して、グループで調べさせる。調べたことから気づいたことを整理させ、クラスで共有する。</p> <p>学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 家やお店が多いこと。 病院や大学などの大きな建物があること。 <p>・ICT機器を用いるとき、上空写真だけでなく、ストリートビューも活用して、建物の高さにも着目できるようにする。</p>	<p>まとめ・ふり返し</p> <p>学習課題のまとめ</p> <p>大型ショッピングモールのまわりは、人がたくさん来るように家やお店などがたくさん集まっている。</p> <p>本時のふり返し (例)</p> <p>大型ショッピングモール(アリオ)には、たくさんの人が来るのでまわりには、お店やお家が多いことがわかりました。他にも〇〇を調べたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ふり返しでは、学習の成果や学習に対する思いを書かせる。 <p>思資料から読み取ったことを基に、学習課題の答えを表現することができる。</p>
--	--	--	--